06135

SEA&SEA

UNDERWATER HOUSING for
Canon EOS-1D MarkⅢ/EOS-1Ds MarkⅢ

MDX-PRO MarkⅢ

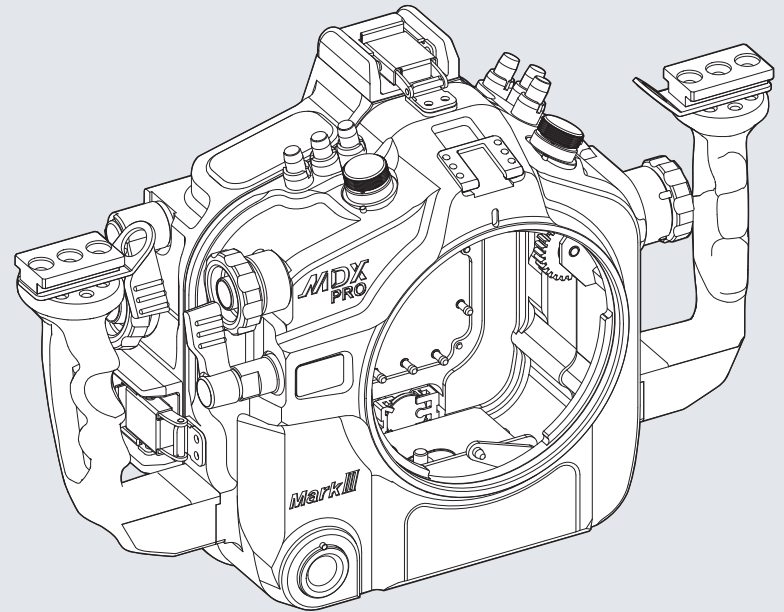
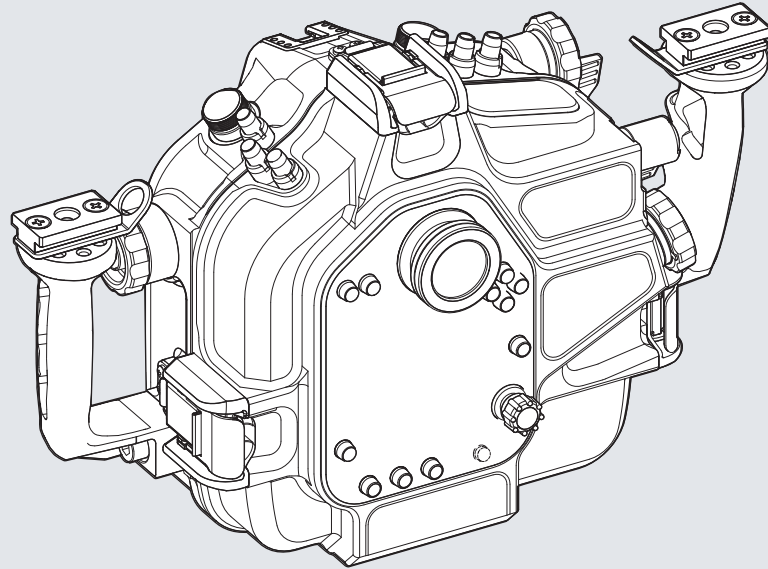
日本語

English

SEA&SEA

シーアンドシー・サンパック株式会社
〒332－0016 埼玉県川口市幸町3－2－20
TEL. 048－256－2251
カスタマーサービスセンター
TEL. 048－255－8512
http://www.seaandsea.co.jp

SEA&SEA SUNPAK Co., Ltd.
3-2-20, Saiwai-cho, Kawaguchi-shi,
Saitama, Japan 332-0016
TEL. +81-48-256-2251
World Customer Service Center
TEL. +81-48-255-8512
http://www.seaandsea.jp

0726-Z-01

取扱説明書
Instruction Manual

はじめに

この度は、シーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みいただいた後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お知らせ

耐圧検査合格シール

このシールが貼られている製品は、シーアンドシー 耐圧検査基準に基づいた検査に合格している製品であることを表しています。

目次

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

⚠警告　取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠注意　取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質･信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

⚠ 警告

● 本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

● ご使用の前に必ずカメラ本体の取扱説明書をよく読んでからお使いください。
● 本製品を絶対に分解･加工･改造しないでください。浸水や故障の原因になります。分解･加工･改造品の浸水･破損等の保証はいたしかねます。
修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
● 煙が出たり、変な音やにおいがするときは、ただちに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
● 万一、浸水が起きた場合は、ただちにスイッチを切りすぐに使用を中止してください。
● 浸水しているときは、内部の圧力が高くなっていることがあります。
本体ケースを開けるときに水が吹き出したり、本体ケースが跳ね上がったりすることがありますのでご注意ください。ケガの原因になります。
● 本製品は気密構造となっておりますので、密閉した状態で航空機などで運搬した場合、内外の気圧差が生じることがあります。本体を密閉しない状態（ポート類をはずすなど）で運搬してください。
● 水しぶきのかかるところ、湿気の多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品の開閉をおこなわないでください。水滴落下･浸水などにより故障の原因になります。
● 本製品を落としたり、振り回したり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。
思わぬケガや破損･故障の原因となります。

- ストロボ・ライト・アクセサリー類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。
  思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- 本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。
  また、浸水の原因にもなります。
- カメラをハウジングに入れて使用すると、ダイヤル・ギア等との摩擦により、カメラにキズがつく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ポートやファインダーなどのガラス面にキズがつかないように十分にご注意ください。
- ポートやファインダーなどのガラス面は、キズがつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまう恐れがあります。
- ご使用後は、防水されている状態で、必ず真水で洗ってください（詳しくは「お手入れと保管上のご注意」（P.J-17）をご覧ください）。
- 接続していたシンクロコード類をはずして洗う際は、必ず本製品のコネクターキャップを閉めて、防水された状態で洗ってください。
- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- 高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。
  本製品はプラスチックを一部使用しておりますので、熱で変形し内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。また、高温となる環境下に製品を密閉した状態で放置しますと、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じて、浸水の原因となったり、また結露を生じる場合があります。
- 水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。
  カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- 万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- 本製品のご使用上において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリー等の交換・補償はいたしかねます。
- 本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- Oリングの取り扱いにつきましては、Oリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。

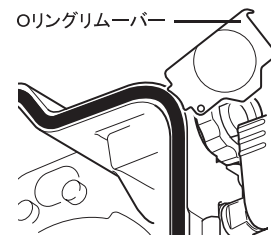
Oリングの取り扱いに関するご注意

本機はOリングで防水を保っています。Oリングの機能を十分に生かすため、以下にご注意ください。取り扱いが不適切だと浸水の原因になります。

⚠注意

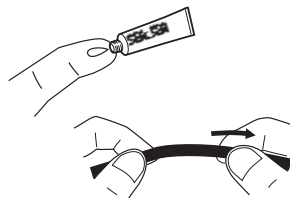
- 当社製品は青色のOリングを使用しています。このOリングは特殊な加工により、シリコンオイルを内部に閉じこめてあります。徐々にシリコンオイルが内部よりしみ出してある程度の間、潤滑効果が持続します。
- このOリングのお手入れには、必ず、当社製純正シリコングリス（青色Oリング用O-RING　GREASE:文字、キャップが青色のもの）をご使用ください。
  他社製のシリコングリスや当社の文字が黒色のシリコングリスを使用されると、青色Oリングの特殊な性質により塗られたグリスを吸い込んでしまい、逆にグリス切れの状態になってしまいます。一度でもこの状態になるとOリングは元には戻りませんので、必ず交換してください。
- グリス切れの状態では、Oリングが滑らず防水部分の開閉が堅くなります。それにより、開閉ができないことや浸水の原因となることもありますので、グリス切れのままでの使用は避けてください。

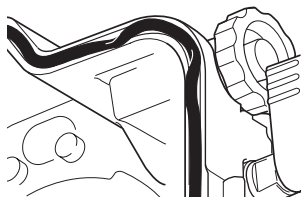
Oリングにキズやヒビ割れはありませんか？

キズ、ヒビ割れがないことを確認してください。もしある場合は、直ちに新しいOリングと交換してください。Oリングを取り扱う際、金属製の尖ったものはキズがつくことがありますので、使用しないでください。付属のOリングリムーバー（O-RING　REMOVER）のご使用をおすすめします。

ゴミや砂、毛髪に注意してください

Oリング、Oリング溝、Oリング接触面にゴミや砂、毛髪などが付いていないことを確認してください。それらが付着している場合は、完全に取り除いてください。そのままご使用になると、浸水の原因になります。

シリコングリスを塗ってください

シリコングリスは、Oリングの摩擦を防ぎます。Oリングにキズやゴミ、ホコリなどがないことを確認後、シリコングリスを指先でOリング全体に薄く塗ってください。多すぎるとゴミやホコリが付着しやすくなり、浸水の原因になります。

Oリングをねじらないでください

Oリングを溝に装着する際、ねじらないようまっすぐに入れてください。

Oリングは毎回はずしてチェックしてください

毎回Oリングをはずして、Oリングや溝、Oリングの接触面等をチェックすることを原則とします。Oリングをはずさないと、Oリング溝の奥に入り込んだ砂やゴミが発見できないからです。ご使用前のメンテナンスは、必ずOリングをはずしておこなうことをおすすめします。

保管方法に注意してください

予備のOリング、またははずしたOリングを保管する場合、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。また保管の際、Oリングに重いものをのせたり、Oリングを折り曲げたりしないでください。

Oリングの耐久年数は1年です

手入れの状態、使用回数、保存状態などにより異なりますが、基本的にOリングの耐久年数は1年です。使用前に点検し、早めの交換をおすすめします。

各部の名称

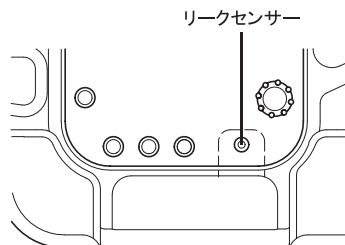
アクセサリーシュー
ストロボコネクター（黒）
表示パネル照明ボタン
露出補正／手動絞り数値設定ボタン
ISO感度設定ボタン
グリップ
パチン錠（右）
シャッターレバー
メイン電子ダイヤル
撮影モード選択ボタン
ストロボコネクター（赤）
ブラケットシュー
フォーカス／ズームダイヤル
フロントケース

パチン錠（天面）
インフォ／トリミング枠縦横切替ボタン
メニューボタン
測光モード選択／ストロボ調光補正ボタン
AFモード／ドライブモード選択ボタン
パチン錠（左）
再生ボタン
消去ボタン
ファンクションボタン
プロテクト／録音／ピクチャースタイル選択ボタン
ファインダー
AEロック／縮小／AFフレーム選択／拡大レバー
サブ電子ダイヤル
マルチコントローラーボタン
設定ボタン
リアケース
電源／サブ電子ダイヤル
リークセンサー
液晶モニター窓

リークセンサー

リークセンサーは水中で浸水を感知すると、赤色に点灯します。リークセンサーが点灯した場合は、安全が確保できる範囲内で速やかに浮上し、ハウジングからカメラを取り出してください。

⚠注意

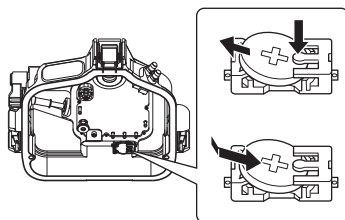
多量に浸水すると内部の気圧が上昇し、非常に危険です。パチン錠をはずす際、リアケースが跳ね上がる可能性がありますので、十分にご注意ください。

リークセンサー用電池を交換する

リアケースにセットされているリークセンサー用の電池を交換します。

⚠注意

電池はCR2032をご使用ください。

1 中央の丸い部分を強く押して電池をはずす

2 電池の＋側を上にして差し込む

ファインダー

本機には、標準ファインダー（0．66倍）が装着されています。ファインダーは交換式で、オプションのファインダーユニットと交換すると、撮影状況に合わせてファインダー倍率が変更できます。

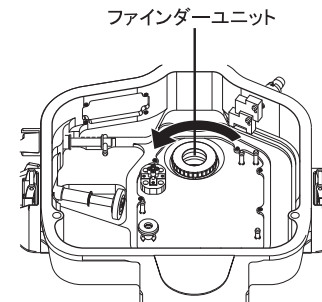
ファインダーを交換する

1 リアケースに装着されているファインダーユニットを反時計方向に回して取りはずす

- ネジ部に緩み止めのグリスが塗布されていますので、触れないようご注意ください。

2 交換するファインダーユニットを時計方向に回して取り付ける

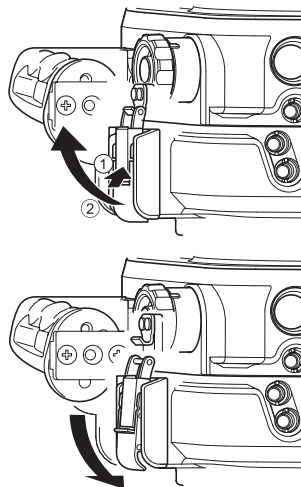
⚠注意

- 取り付け前に、ファインダー内部にホコリ、ゴミ、汚れ等のないことを確認してください。
- 交換の際、ファインダーのレンズ面に触れないでください。

ハウジングを開閉する

ハウジングの開閉はパチン錠でおこないます。ここでは、パチン錠の開閉について説明します。

パチン錠を開ける

1 リアケースを上にして、天面のロックを押しながら①、パチン錠をフックからはずす②

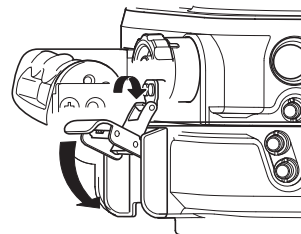
2 左右のロックを押しながらパチン錠をフックから同時にはずす

⚠注意

- パチン錠をはずすときは、指の爪ではなく指の腹で開けるようにしてください。
- フックからパチン錠をはずした状態でパチン錠をロックすると、リアケースがはずしやすくなります。

パチン錠を閉める

1 フロントケースのガイドピンとリアケースのガイドを合わせてリアケースをセットする

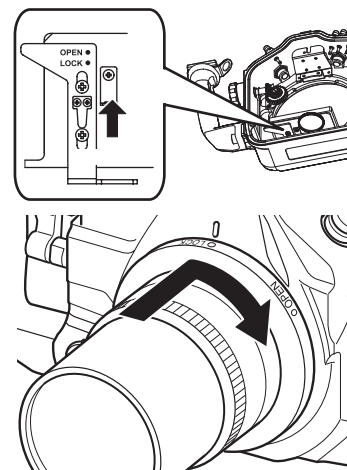
2 左右のパチン錠をフックに掛け、同時にパチン錠を閉じる

3 天面のパチン錠をフックに掛け、パチン錠を閉じる

⚠注意

- リアケースとフロントケースを合わせる前に、Oリングと Oリング接触面にゴミやキズ、変形がないことを確認してください。
- パチン錠が確実にロックされていることを確認してください。

ポートを取り付ける／取りはずす

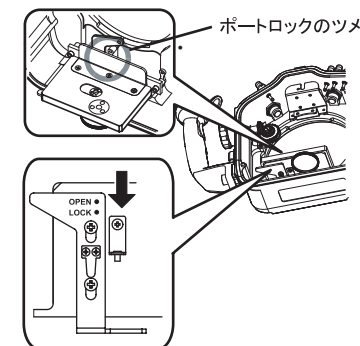
1 フロントケース底部のポートロックをOPENの方向にカチッと音がするまで引く

2 フロントケース側の位置合わせマークとポート側のOPENマークを合わせ、ポートをフロントケースに押し込み、時計方向に止まるまで回す

⚠注意

ポートを取り付ける前に、ポートのOリングとOリング接触面にゴミやキズ、変形がないことを確認してください。

3 フロントケース側の位置合わせマークとポート側のLOCKマークが合っていることを確認する

4 ポートロックを LOCK 方向へカチッと音がするまで押し込む

- ポートの凹部にポートロックのツメが入っていることを確認してください。

ポートを取りはずす

1 ポートロックをOPENの位置にする

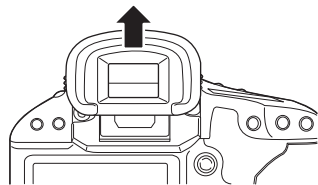
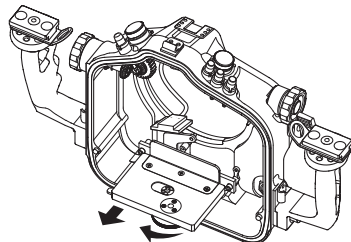
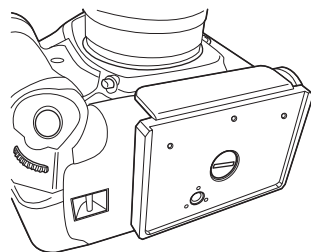
2 フロントケースをしっかり押さえポートを反時計方向に回してはずす

⚠注意

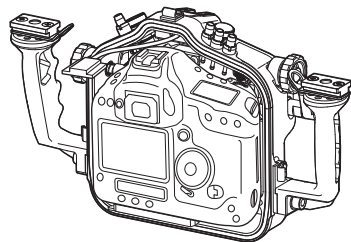
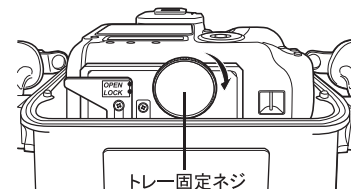
- ポートロックがLOCK状態で、ポートを無理にはずさないでください。カメラベースに損傷を与える恐れがあります。
- 本機でNX－90PRO用のポート（品番が4ケタでバヨネット部が黒）をご使用になる場合は、ポートのバヨネット部を改造する必要があります。NX－90PRO用のポートでも、品番が5ケタでバヨネット部がグレーのものはそのまま使用できます。詳しくは当社カスタマーサービスセンターまでお問合せください。

カメラをハウジングにセットする

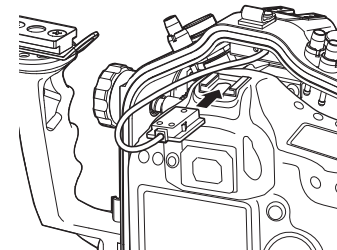
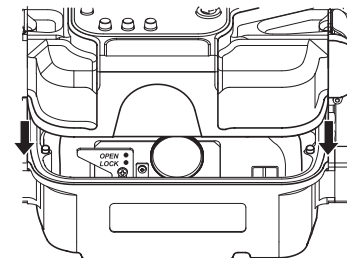
⚠注意

● セットする前に、Oリングが溝からはみ出していないか確認してください。
● カメラのアイカップは、必ずはずしてください。はずさずに使用すると、浸水の原因になることがあります。

1 **トレー固定ネジを反時計回りに回し緩め、フロントケースからカメラトレーを引き出す**

2 **付属の取付工具を使って、カメラトレーをカメラの三脚ネジ穴に固定する**

3 **レンズをカメラに取り付け、フォーカスモード（AFまたはMF）を設定する**

4 **カメラをフロントケース前方にスライドさせる**

● シンクロコネクターをフロントケースの外に出してください。
● レンズに取り付けたギアとフロントケースのギアがぶつからないよう、フォーカス／ズームダイヤルを回しながらスライドさせてください。

5 **トレー固定ネジを時計回りに止まるまで回して、カメラを固定する**

6 **シンクロコネクターをカメラのアクセサリーシューに差し込む**

⚠注意

シンクロコネクターの取り付け、取りはずしの際は、必ずコネクター部分を持ってください。コードを押し引きすると、コネクターの破損や接触不良の原因になります。

7 **フロントケースのガイドピン（2ヶ所）にリアケースのガイドを合わせてリアケースをセットする**

8 **パチン錠を閉じる**

⇨参照

「ハウジングを開閉する」（P.J–9）

カメラをハウジングから取りはずすには

1 **パチン錠を開ける**

2 **リアケースをはずす**

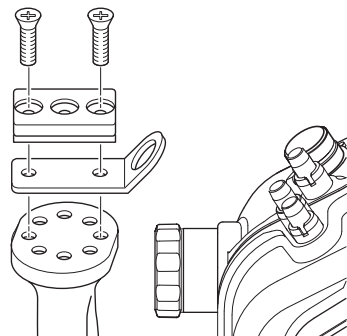
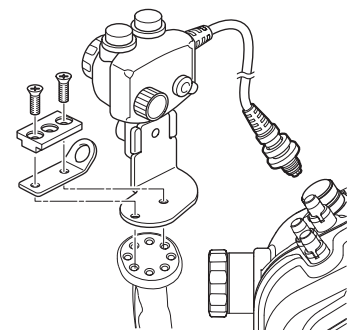
3 **シンクロコネクターをカメラのアクセサリーシューからはずす**

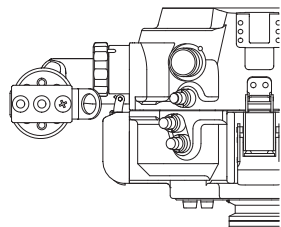
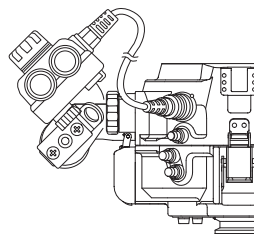
4 **トレー固定ネジを反時計回りに回し緩める**

5 **カメラを手前にスライドさせながらフロントケースから取りはずす**

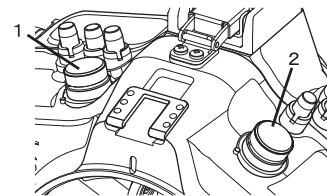
TTLコンバーターを取り付ける

本機にはオプションのTTLコンバーターを取り付けることができます。TTLコンバーターを取り付けると、YSシリーズストロボがTTL調光できるようになります。

1　グリップのビス2本をプラスドライバーではずして、部品(ブラケットシュー／ラニヤードフック)を取りはずす

2　取りはずした部品とグリップの間にTTLコンバーター本体取付板をはさみ、TTLコンバーターに付属のビスで取り付ける

⚠注意

取付ける際、工場出荷時の位置の場合TTLコンバーターのケーブルに負荷が掛かることがありますので、それを避ける為に下図の位置を参考に取り付けてください。

工場出荷時

TTLコンバーター取り付け時

ストロボを接続する

本機には、ストロボコネクター(黒色：1)とTTLコンバーターコネクター(赤色：2)が搭載されています。

⚠注意

YS シリーズストロボシンクロコードをTTL コンバーターコネクター(赤色：2)に接続しないでください。コネクターのピンなどを破損する恐れがあります。同様に、TTLコンバーターのカメラ接続ケーブルをストロボコネクター(黒色：1)に接続しないでください。コネクターのピンなどを破損する恐れがあります。

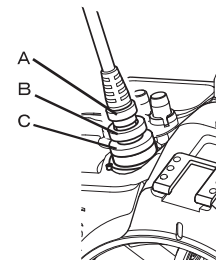
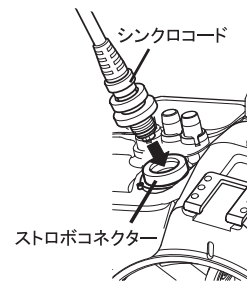
1　ハウジングのコネクターキャップをはずす

2　接続するシンクロコードのOリングにキズ、ゴミ等がないことを確認する

3　シンクロコードの○マーク(または先端の凹部)と、ストロボコネクターの○マーク(または内側の凸部)を合わせてまっすぐ差し込む

4　シンクロコードのBを、ストロボコネクターのネジに合わせ、止まるまで回す

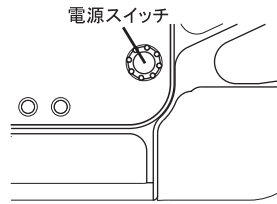
5　シンクロコードのCを止まるまで回す

- 確実に締めてください。
- シンクロコードをはずすときは、C、Bの順でゆるめてAを持ちまっすぐに引き抜きます。コード部分を引っ張らないでください。

⚠注意

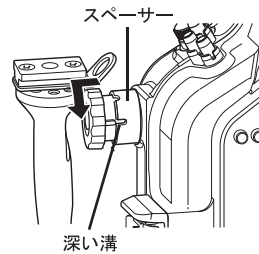
- 水中でご使用後は水滴落下を防ぐために、必ずコネクター部の水気をよく拭き取った後で、本機を逆さの状態にしてコネクターを引き抜いてください。万一、水滴落下した場合は、速やかに水気を拭き取ってください。
- 適合ストロボ以外のストロボを使用すると、正常に作動しないだけでなく、カメラおよびストロボの故障の原因となることがあります。

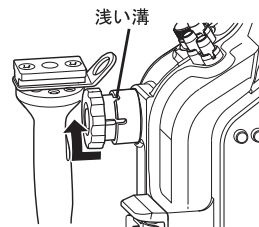
各部の操作

電源スイッチ

電源のON／OFFの際、矢印の方向にダイヤルを回してください。

フォーカス／ズームダイヤル

フォーカス／ズームギアを使用する場合

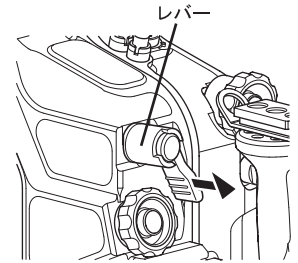
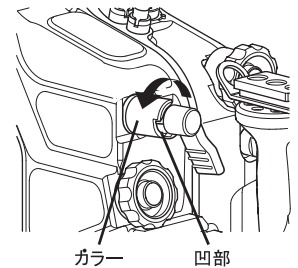
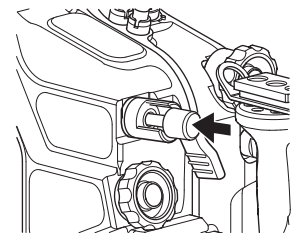
フォーカス／ズームダイヤルを引っ張って回し、ダイヤルの凸部をスペーサーの深い溝側にセットします。

フォーカス／ズームギアを使用しない場合

フォーカス／ズームダイヤルを引っ張って回し、ダイヤルの凸部をスペーサーの浅い溝側にセットします。

⚠注意

- フォーカス／ズームダイヤルは、レンズにレンズギアを装着しないと、操作できません。
- ズームギアをご使用の場合は、マニュアルフォーカスはできません。
- レンズにフォーカスギアを装着した状態でオートフォーカス撮影をする場合は、必ず浅い溝側でご使用ください。深い溝でご使用になりますと、レンズに損傷を与える可能性があります。

AEロック／縮小／AFフレーム選択／拡大レバー

工場出荷時、レバーはAEロック／縮小ボタンを操作する位置にセットされています。AFフレーム選択／拡大ボタンを操作するときは、以下の手順でレバーの位置を変えてください

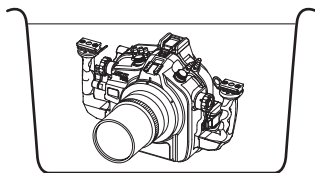
1　レバーを矢印の方向に引いて保持します。

2　カラーを矢印の方向に回します。

3　カラーの凹部にレバーをセットします。

その他の操作部

カメラ本体の取扱説明書をお読みください。

お手入れと保管上のご注意

⚠注意

- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ご使用になった後は、必ず防水されている状態で、図のように十分に真水に浸けてから流水で洗ってください。可動部分（レバーやボタンなど）は動かしながら洗ってください。
  ※パチン錠は除く

- 十分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因になることもありますので、必ず真水に十分に浸けてください。
- 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
- 熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となることがありますのでおやめください。
- 長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
- ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ご使用になった後は、カメラをハウジングから取り出してください。カメラを取り出すときは、ハウジングの水分をよく拭き取ってから、水滴が内部に落ちないように注意しておこなってください。もし内部に水滴が落ちたときはよく拭き取ってください。
- ご使用になった後は、Oリングのメンテナンスをしてから保管してください。ご使用の前後に必ずOリングの点検をし、早めの交換をおすすめします。
- ご使用の頻度や保管状態によっても異なりますが、製品の性能を維持するために、お買い上げいただいてから2年毎に1回を目安に、オーバーホール（有料）にお出しになることをおすすめします。

仕様

適応カメラ	キヤノン EOS −1D MarkⅢ・EOS −1Ds MarkⅢ
操作部	シャッターレバー・メイン電子ダイヤル・撮影モード選択ボタン・AFモード／ドライブモード選択ボタン・測光モード選択／ストロボ調光補正ボタン・表示パネル照明ボタン・露出補正／手動絞り数値設定ボタン・ISO感度設定ボタン・AEロック／縮小／AFフレーム選択／拡大レバー・メニューボタン・インフォ／トリミング枠縦横切替ボタン・電源／サブ電子スイッチダイヤル・プロテクト／録音／ピクチャースタイル選択ボタン・ファンクションボタン・消去ボタン・再生ボタン・マルチコントローラーボタン・設定ボタン・サブ電子ダイヤル・フォーカス／ズームダイヤル
材質	ボディ：耐腐蝕アルミ合金 グリップ：耐腐蝕アルミダイキャスト
耐圧深度	60m
サイズ	約355（幅）×220（高さ）×147（奥行き） mm
質量	約3150g（ハウジングのみ）
付属品	カメラトレー・シリコングリス・Oリングリムーバー・取付工具・六角レンチ・ハウジングボディキャップ・Oリングメンテナンスマニュアル・CR2032リチウム電池（リークセンサー用：本体に装着済み）・取扱説明書（本書）

※本機の仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。